

令和4年度 経営発達支援事業 実績・評価

1. 評価期間名 奈井江町商工会 経営発達支援計画評価委員会
2. 開催日時 令和5年6月14日(水) 13時00分～13時40分
3. 開催場所 奈井江町商工会

4. 出席者

- ・奈井江町商工会 会長 石川 正 人
- ・奈井江町商工会 副会長 太田 裕 治
- ・奈井江町商工会 副会長 山口 議 史
- ・奈井江町役場産業観光課 課長 石塚 俊 也
- ・北門信用金庫奈井江支店 支店長 和泉 洋
- ・北海道商工会連合会組織支援部広域支援課 主査 工藤 大 幸
- ・奈井江町商工会 事務局長 首藤 繁 勝
- ・奈井江町商工会 経営指導員 阿部 隆 史

5. 令和4年度奈井江町商工会経営発達支援計画の実績と評価

I. 経営発達支援事業の内容

1) 地域の経済動向調査に関すること

- ・各種経済情報分析結果の公表回数

目 標：4回 実 績：1回 自己評価：A

中空知・北海道・全国における景況調査の集計・分析と、情報提供を実施

- ・地域経済分析結果の公表回数

目 標：1回 実 績：1回 自己評価：A

町内及び周辺地域における地域経済の分析と、情報提供を実施

- ・地域経済動向分析結果の公表回数

目 標：1回 実 績：1回 自己評価：A

新型コロナの影響を含めた地域経済動向の分析と、情報提供を実施

2) 需要動向調査に関すること

- ・商談会等での需要動向調査事業者数

目 標：2社 実 績：2社 自己評価：A

バイヤーに向けアンケート調査を実施し、今後役に立てられる情報を収集

- ・物産展での需要動向調査事業者数

目 標：2社 実 績：0社 自己評価：B

ターゲットを設定した結果、商談会出展とし、そこで事業者に有意な情報を収集

- ・ふるさと納税での需要動向調査事業者数

目 標：2社 実 績：0社 自己評価：C

未実施だが、返礼品受領者に向けたアンケート実施に向けて、その手法を検討

3) 経営状況の分析に関すること

- ・経営分析事業者数

目 標：20社 実 績：20社 自己評価：A

経営自己診断システムなどの経営分析を活用し、経営分析を実施

4) 事業計画策定支援に関すること

- ・DX推進セミナー開催回数

目標：1回 実績：0回 自己評価：B

新型コロナや税制改正などの喫緊の課題に対応する内容を優先して実施

- ・事業計画策定事業者数

目標：12件 実績：13件 自己評価：A

事業の持続的な発展につなげるために事業計画の策定支援を実施

- ・事業承継計画策定事業者数

目標：1件 実績：2件 自己評価：A

事業承継につなげるための事業承継計画の策定支援を実施

5) 事業計画策定後の実施支援に関すること

- ・フォローアップ対象事業者数

目標：13件 実績：12件 自己評価：B

事業計画策定者に対するフォローアップを実施

- ・頻度（延回数）

目標：52件 実績：85件 自己評価：A

事業計画策定者に対するフォローアップを密に実施

- ・売上増加率2%以上増加事業者数

目標：2社 実績：2社 自己評価：A

フォローアップ対象事業者のうち2社が売上増加率2%以上達成

- ・営業利益率3%以上増加事業者数

目標：2件 実績：2件 自己評価：A

フォローアップ対象事業者のうち2社が営業利益率3%以上達成

6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

- ・商談会出展事業者数

目標：2社 実績：2社 自己評価：A

道外の商談会出展と販路開拓を支援

- ・商談会成約目標件数/者

目標：1社 実績：0社 自己評価：B

成約には至らなかったが、課題抽出されたほか、有用な情報を収集

- ・物産展出展事業者数

目標：2社 実績：0社 自己評価：B

ターゲットを設定した結果、商談会出展とし、出展事業者に支援を実施

- ・物産展売上目標額/者

目標：8万 実績：0万 自己評価：B

出展した商談会において、売上向上のための商品改良に役立つ調査結果が得られた

- ・フリーペーパー・観光情報誌掲載事業者数

目標：14社 実績：18社 自己評価：A

フリーペーパーや、小冊子に共同掲載することで販路拡大を支援した

- ・フリーペーパー・観光情報誌掲載支援による売上増加額/者

目標：5万 実績：8万 自己評価：A

掲載を支援した事業者の平均売上増加額5万円以上達成

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

・事務局会議の開催

目 標：4回 実 績：12回 自己評価：A

支援の場に職員を同行させたほか、高い頻度で事務局会議を実施。緊密な連携を実現

・事業評価委員会の開催

目 標：1回 実 績：1回 自己評価：A

2) 経営指導員等の資質向上等に関すること

・外部講習会等の積極的な活用

目 標：1（活用する） 実 績：1（活用した） 自己評価：A

北海道商工会連合会、中小企業大学校等が主催する研修会に参加し、知識・ノウハウを習得

・OJT制度の導入

目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A

巡回指導や窓口相談の際、他の職員を同席させ知識やノウハウ習得のためのOJT実施

・職員間の定期ミーティングの開催

目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A

週に1回以上の高頻度で開催し、緊密に連携して実施できる体制とした

・試食会

目 標：1回 実 績：0回 自己評価：C

新商品開発を行う事業者の掘り起こしのため、情報提供等を実施

3) 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

・北海道商工会連合会等専門支援機関との連携と情報交換

目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A

支援ノウハウ、課題の解決方法について情報交換を実施

・日本政策金融公庫との連携と情報交換

目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A

融資制度情報だけでなく、管内動向や支援ノウハウの共有を実施

・奈井江町及び地元金融機関との連携と情報交換

目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A

経済動向の情報共有を密に実施。特にコロナ関連については高頻度で実施し、対応に役立てた

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1) 地域経済の活性化に資する取組に関すること

・地域イベント等による地域経済の活性化

目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A

コロナ禍であり大規模なイベント開催には至らなかったが、町補助金を活用してイベントを実施

・地域情報の共有と情報発信の強化

目 標：1（実施する） 実 績：0（実施できていない） 自己評価：C

計画記載の「地域経済活性化会議」は実施できていないが、関係機関との情報共有は実施

6. 委員からの意見等

- ・物産展に固執せず、ターゲットを設定した上で、より適切なイベントに出展すべきであり、計画のなかで物産展の目標数値が設定されているものの、手段にとらわれず事業者にとって、必要かつ有用な需要動向調査や販路開拓できることを重視すべき。そのため、物産展への出展がなかったからといってDの評価ではなく、より適切な支援をしたということで評価を改めても良いと考える。
- ・商談会成約に関して、成約には至っていないものの、市場動向や需要動向の情報収集をしたほか、課題抽出まで行って支援に役立てている。こうした情報を得て、商品ブラッシュアップに役立て、売上向上に向けた取組を進めていくことができるのも参加することによる成果なので、成約がないからDとするのではなく、上方修正していいと考える。
- ・伴走型支援で出展支援を実施した事業者でないとカウントできないのか？経営発達支援計画のなかで、計画策定や、出展に至るまでの支援、その後のフォローなどしていれば、単独で出展している事業者についてもカウントすべきだと考える。